

事業番号	申請回数等	団体番号	団体名	昨年度指摘事項と改善状況	申請時、審査会への申し送り事項	各委員からの質疑・意見等(意見につきましては、団体へお伝えいたします。)								団体への確認内容または事務局からの回答		
						榎戸委員	工藤委員	土屋委員	柳澤委員	岩松委員	大西委員	松井委員	小野委員		鈴木委員	竹中委員
37	5回目の団体 + その他事務局が必要と認める団体	81	特定非営利活動法人市川子ども文化ステーション	なし	新型コロナウイルスの影響もあり、例年開催していた事業が会場の都合上開催できないことから、観劇事業を実施予定です。事務局としては、特設問題のないものと考えておりますが、例年から事業内容に大きく変更があることから、新設事業ではなく継続事業としての申請となります。 コロナ対策については、公共施設のルールのとおり、席の間隔を設け、検温、消毒、アンケートのインターネットでの実			【意見】 コロナ禍の状況下においては、団体のミッションに合致する内容であれば70分間内容を組み替えることは特設問題などと思いません。逆に内容を変えたことで、これまで何が通っていたのかを団体が意識されることで、今後活動に活かせるようなことや、活動展開によってプラスになることが学べるかもしれません。	特になし	【意見】 新型コロナウイルスの影響で活動内容の判断難しい		特になし	【質疑】 82,500円は何日分なのか、内訳を教えてください。	【意見】 事業内容の変更については、現在の社会情勢からやむを得ないと思います。また、変更後の観劇事業は、事業の目的に沿った内容であり、事務局意見と同様問題ないと思います。	【報償費の内訳について】 82,500円は公演日ごとの自分、2公演分でお1人に対しての報償費となります。計3名に支払い予定で、247,500円となります。	
40	4回目の団体	88	ぼっけ生きもの倶楽部	なし			【質疑】 提案事業はコロナの状況に変化がない場合も実施可能ですか？といったコロナ対策を取られますか？		【質疑】 チラシの印刷数を再検討下さい。	【質疑】 当初の目的と目標の効果は、更に新たな目標設定が必要、内容の見直しなどあるは、5万枚のチラシの配布方法を説明下さい。		【質疑】 AutoCAD金額が1か月分だけの計上ですが、他の月は必要ないか教えてください。		【コロナ対応について】 屋外での事業となるため、今後も計画通りに事業を行う予定となります。実施の際は、人が密集しないように距離を保ちながら、使用する道具の消毒、マスク着用にて事業を行います。 【市川市民活動団体事業補助金の継続について】 【事務局より】 市川市民活動団体事業補助金では3年で自立した事業を行ういただくことも一つの目的としておりますが、一部事業については、継続した支援も必要であると考えております。 このことから、4年目以降については、補助金の継続について、効果や事業目的、資金面、また市の事業の補助的なものであるといった観点から審査を行い、必要性が認められた場合には、継続して補助を受けることが可能となります。 分野を問わず各団体に自立の道を検討していただくことについては、今後も事務局より、機会があることにお伝えしていきます。 【CADの使用料について】 AutoCADの使用料については、30年度の審査会で審議をふまえ、団体の作成に必要な3か月分分の計上となっております。		
41	4回目の団体	90	市川子ども文化ネットワーク	なし			【質疑】 ・つながりカフェの参加費が一律1000円になった理由は？ ・提案事業はコロナの状況に変化がない場合も、20名程度の参加費数字は妥当ですか？また、その場合の三密対策は？ ・実際にオンライン参加希望者がいた場合、どう参加費を徴収されますか？運営側の体制も問題ないですか？		【質疑】 チラシの印刷数を再検討下さい。今年またチラシを増やした理由は何でしょうか？ あるいは、5万枚のチラシの配布方法を説明下さい。	【質疑】 当初の目的と目標の効果は、更に新たな目標設定が必要、内容の見直しなどあるは、5万枚のチラシの配布方法を説明下さい。		【意見】 9回全て外部講師での計画ですが、会員15名おられるので、2〜3回は経費豊かな会員の力を内部講師として、講演会を開催することを検討した方が良いと思います。内部講師は、講演時間を短くして質疑応答時間を多くすれば、参加者にとってより有意義な講演会になると思います。	【質疑】 「もともと夜間のカフェの参加費は1000円、昼間のカフェの参加費は500円としており、今年度は夜間のみの開催のため、一律1000円の参加費になりました。活動を縮小した理由としては、今年度からの助成金の減額が見込まれるため、回数を減らすことになりました。（6月〜8月はオンラインでの開催のため、まだ行前準備のため、参加費を500円で行いました。9月以降は参加費1000円に予定しています。） 【参加人数とコロナ対策について】 ・すでにオンラインでの開催を取り入れており、三密対策をとっています。オンライン開催であっても、交流のしやすい観点から、参加者数は20名程度が妥当だと考えています。参加費の徴収については、現在は銀行振込を利用しています。運営も今のところ問題なく行っています。 【チラシ印刷について】 ・5万枚の内訳は、つながりカフェ用25000枚、ごごわらい会議用25000枚を予定していました。原価としては、昨年度の参加費が目標に達していたため、参加費を目標していた枚数を減らしています。配布先は、それぞれ市内小学校の全校児童配布を予定しています。ただ、現在の感染状況は大幅な影響で、つながりカフェのチラシの印刷配布は見合わせており、実際印刷数が大きく減る見込みとなっています。 【目標の効果と今後について】 ・3年間の実績として、講師をのべ48人お招きし、参加者はのべ631人となっています。参加者どうし、または参加者と講師の間につながりができ、カフェの外でもお互いがそれぞれの活動の参加者になったり、ボランティアとして協力したり、新たな活動のきっかけになっています。また、普段はなかなか知ることもできない専門的な情報や知識を得られる場になっており、参加者一人一人のスキルアップも図れています。新たな目標としては、オンラインを導入することや今まではお話しできなかった遠方の講師をお招きし、今まで以上にテーマの幅を広げ、出会いの幅を広げていきたいと考えています。			
42	4回目の団体 + 昨年度指摘事項のある団体	91	ASB	【昨年度実績報告時の指摘事項】 事業におけるキャンプについて、税金を原資とした補助金である事を鑑み、広く一般市民への利益がある事業にのみから事業計画（参加募集方法、参加費内訳の在り方を含め）の立案・記載をすようお願いします。 【令和2年度申請時の改善状況】 広報活動のクオリティ向上のための改善としてフェイスブックページを活用することにしました。また、ホームページを更新して最新の情報にしています。			【質疑】 ・参加想定数が1と半端に見えますが、なぜ13名なのですか？その数的根拠をお聞かせください。また野外活動や工作教室の比率はどのくらいですか？ ・過去審査委員から、「参加人数も少なく、悪い言い方をすれば、お友達とおし補助金をもらって安い費用でキャンプに行ける」といふように思えてしまふという指摘がありました。また指摘事項として「一般市民への利益がある事業だとわかる事業計画」が求められていますが、これらについての具体的な改善点はどのようなものでしょうか？ 【意見】 ・広報活動のクオリティ向上のための改善としてフェイスブックページを活用したことと、これは結構なのですが、ただFBにイベントを掲載しただけでは効果は上がらないと思います。周りの人々に呼びかけでASBのFBページ自体のいいね数を増やしたり、野外教室のイベント情報をきちんと記載するなど努力あって、はじめて効果や改善策が認められると思います。	【質疑】 8月のキャンプの実施の有無によって、事業計画が変更になるのではないのでしょうか。	【質疑】 事業活動の市民の認知広がりや考え、新たな計画による申請としては？	【質疑】 キャンプの参加費が13人、工作教室は16人となりますがこの違いは？	【質疑】 新代3,200円(20kg)=1,500円の根拠を教えてください。	【意見】 指摘事項については、広報活動において具体的な改善の取り組みがなされていると思います。	【参加人数および事業の改善点について】 キャンプの参加人数については、昨年参加者家族2家族大人3名、子供4名、ピート参加者2家族大人2名、子供4名の合計13名です。 良質な改善点としてホームページの問い合わせと今年の初めに実施した工作教室で実施しました方々にお知らせを発送して参加者の意思を確認しています。 また、普段の生活では行うことができない遊びを経験することでキャンプ場でイベントを開催しています。 【工作教室の参加人数について】 昨年までの実績ベースで算出したものとなります。 【事業の実績について】 下記の対策を行ったうえで、予定通りイベントを行います。 コロナウイルス対策としては、 1. 消毒用のアルコールまたはジェル状の薬品を購入して使っていたります 2. 紙コップや紙皿などを購入して家庭ごみとして処分できる限りでの用意をする 3. テント泊を快適に過ごしていただくために風通しの工夫を行うことで感染防止に心掛けるとなります。 【事業内容の見直しについて】 今年のイベントに関しては、コロナウイルスの影響で開催することも議論があっただけですが毎年開催している事、参加者の人数に関わらず好評を得ているためできるだけの活動はやっていこうという結論になったので決定しました 【新代について】 去年開催した野外教室で余った薪が10kg程度残っていたため今回は去年分と併せて20kgあれば足りると結論が出たので約10kg分の薪を購入する事で合意しました。			
43	3回目の団体 + その他事務局が必要と認める団体	92	市川でよい芝居をみる会	なし	補助金申請団体でもある、INPO法人市川子ども文化ステーション（※INPO法人市川子ども文化ステーションが申請する事業とは別のものとなります。）と共催で開催する事業となります。 費用を1/2で折半していることから、1/2分を子ども文化ステーションからの協賛金として収入欄に計上しております。共催団体が共に当該事業を補助申請しているものではなく、資金確保の面からも、共催での開催について、特設の問題はないかと考えておりますが、今回このようなケースが初めてであったことから、審査会にお送りするものです。 コロナ対策については、公共施設のルールのとおり、席の間隔を設け、検温、消毒、換気の実施等を行います。			【意見】 市の規定に抵触するものでなければ、特に問題ないかと思いました。	特になし	【質疑】 元年の活動が会員みんなで企画し可能な開催がどうできなかったですか		特になし	【質疑】 今年度の共催開催については、事業計画い？団体への支払いですか？必支払い時の、源泉徴収手続きは発生していますか？いせんか？	【意見】 今年度の共催開催については、事業計画い？団体への支払いですか？必支払い時の、源泉徴収手続きは発生していますか？いせんか？	【前年度の事業について】 公演対象とした演目が見つからなかったこと、劇団の上演料、公演時期の折り合いがつかず、会場確保も困難であったことから、昨年度は事業未実施となりました。	【チラシの配布先について】 チラシの配布先は下記の通りです。 チラシは、市内全小学校の全児童あて23,000枚、市内全公共施設1,500枚、各委員およびサポーター1,500枚、地域の新聞等への折込用10,000枚、友誼団体のイベント時の折込み配布2,000枚、その他2,000枚 【源泉徴収について】 【事務局への確認依頼】 源泉徴収手続きに関してケースによっては、発生することもあるとお聞きしたことがあります。 今年一度、市民活動団体事業補助金に關し（特に今回の対象事業に關し）、源泉徴収義務が発生するケース、しないケースを教えてくださいたいと思います。徴収義務が発生する場合は源泉徴収の必要性的判断は困難であると判断しては行っており、事務局において各事業の源泉徴収の必要性的判断は困難であると判断しては行っており、個々で詳細を問合せいただき、引き続き各団体適正な対応を行うよう周知してまいります。

